

BSKTPLC by *Stephane de Medeiros*
Octobre 2013

私が日本に住み始めてから、瞑想という考えは、もともと現象学への関心が色濃く現れていた私の作品により強く結びついていきました。

瞑想している時は、意識に浮かぶあらゆる要素を、ヒエラルキーを排除して同列に置かなくてはなりません。彫刻家としての私が特に興味があるのは、そのように序列のない空間の捉え方です。つまり無秩序な状態です。この無秩序状態は、瞑想することで、そこにあるものに対して自分の存在を減することを示しています。

この消去は自己抑制です。これは私からすると、哲学者ジル・ドゥルーズや未来派の画家たちが言う触覚、皮膚感覚による体験と同じ感覚です。私に触れる時点で私の存在を消去します。

ギリシャ語で「oikos」とは家や避難所を意味します。この言葉は「ecologie」という言葉の由来にもなっています。生態環境の危機は単に生態系の危機というだけではなく、距離を置くことや断絶の不可能性ということも意味します。バイオメトリック・パスポートや監視カメラがその例です。

瞑想することは、この距離を取り戻すことです。ところで、この距離には「否定性」という哲学用語があり、「否」と言うことです。「否」とは断絶です。例えば、へその緒の断絶や手から離れた風船との断絶など。瞑想することによって断絶がありますが、呼吸や、肩を打つ警策のような動作もまたあります。

私はBSKTPLCです。この言葉は子音から成る言葉で、瞑想している時に現れる母音で生かされない限り意味をなしません。